



檻と
縷女
布を
がさ
さない
で

♡
H
ん

三日月宗近
♡
山姥切国光

R-18
Adult Only

お、おい
三日月っ

俺が
部屋に来て早々
布団に引き摺り込むなっ

つれないことを
言うな国広

太刀の俺は
京都では不利ゆえ
もっぱらおぬしとは
別部隊になって
しまったからな

離れて寂しさを
つのらせた分
はやく
おぬしを感じたい

三日月……

のう国広よ、
いいだろう……？

あっ

……っ



全く、
油断も隙も
ないな…アంత…

カッ

布は取らないと
約束しただろっ!!



その…
「むーど」とやらでな、
つい、出来心だった……

反省しておるよ

でも、
謝罪はなさった
のでしょうか？



それが…
徹底的に
避けられておってな

あれから
かれこれ十日ほど
顔をあわせておらん…

この本丸内で十日も
顔を合わせられぬとは
山姥切国広殿も意固地に
なっておられるのやも
しれませんな…



そうかもしれぬな…

最近は何部隊での
出陣な上に

先日は、内番が同じはず
だったのだが、
あやつの代わりに
加州清光が来てな…

あいつに
何やっちゃった
わけ？

山国が
どーしてもって
ニホッからさー



三日月殿は
山姥切国広殿の
あの布を取ったりしない
という約束をしていたのに

その約束を
破ってしまって
怒らせてしまった、と
いうことですか？

そんなわけで
取りつく島も無く
ほとほと
困り果てておる…

なるほど…
そこまでくると
三日月殿が
気落ちなさるのも
無理はありませんな

まあ、
俺に全面的に
否があるんだがな…

この本丸には
心の深くに
抱えるものを
持っている刀が
多くありますが

山姥切国広殿の
あの布は
まさにその心の内なる所に
直結しておられますから
そうなってしまうのも
仕方無い事でありましょう

…と、
申し訳ない！
少々出過ぎた事を
申しました

いや、返す言葉も無い
同じ事を
石切丸や小狐丸にも
さんさん
説教をされたしな

ただまあ、
きつと俺の前なら
国広は姿を隠さずとも
大丈夫だと、

心のどこかで
慢心していた
のは否定できぬかな

ははは

三日月殿…

チュン
チュン

もちろん
俺とてあやつの
心の間を軽んじていた
つもりはなかったよ…

自業自得
大に反省あるんだね
ふふふの仕度
ニヤリませぬな

ん？

おお、
雀か



ふふっ
膝に乗ったぞ

そういえば三日月殿は
馬当番でも
好かれておりましたな！

フーン…
馬のすきんしつぷは
ちと熱烈でな…
内番作業が捗らないのが
悩みではある

馬当番といえば
こないだ鮫尾藤四郎と
一緒になったぞ。
なにやら馬糞を集めて
おったんだが
あれは
『まいぶーむ』という
やつなのか？

いやはや
お恥ずかしい…
やめるよう言い合めて
いるのですが…



先日も、
馬糞に触れた手で
乱の衣を
掴んでしまって
大騒動でした

はっはっは
それはたしかに
乱が怒るのも
無理は無いなあ

ゼッコーだよ

パンスコ

弟達の
仲裁を
思っていた
のですが

こういった事は
時が遅くなるほど
拗れてしまう
というものと

ここはやはり
三日月殿も早めに
山姥切国広殿と
会ってお話できれば
良いのですが…

特に
山姥切国広殿は
難しいお方ですから…

うむ、
まさしく一期一振の
言う通りだの



本当は、
会おうと思えば
部屋へ赴くなり
なんなりすれば
すぐに会えるに
違いはない

それをしなかったのは
たぶん

俺は、
怖いのだ…

俺は、
今まで散々
天下五剣だのと
云われ
ただ求められ

俺も
欲される一方の
立場をそのまま
受け入れてきた

だからかの

もし国広に
面と向かって
「愛想が尽きた」と、
嫌いだと
いわれてしまったら

それを想像するだけで
この身が、
心が冷えて
俺は自分が
どうなってしまうのか
わからん

ただまあそうだな、
このままで良い
わけがないな



三日月……？

おお、
おかえり

やっと
会えたな
国広

もしかして
俺が遠征から帰還するのを
そこで待っていたのか？

ああそうだ

こうでもせぬと
中々おぬしと
面と向かって
話せそうに
なかったのでは？

しかし、
景趣が冬では
ないとはいえ
さすがに夜は
冷えるなあ

ははは
まいたた

当たり前だろう！

体を
壊したら
どうするんだ

おお、
じじいを
心配してくれるか

国広は
優しいな

はー：
とりあえず
部屋に入ってくれ
三日月：

国広：

三日月：

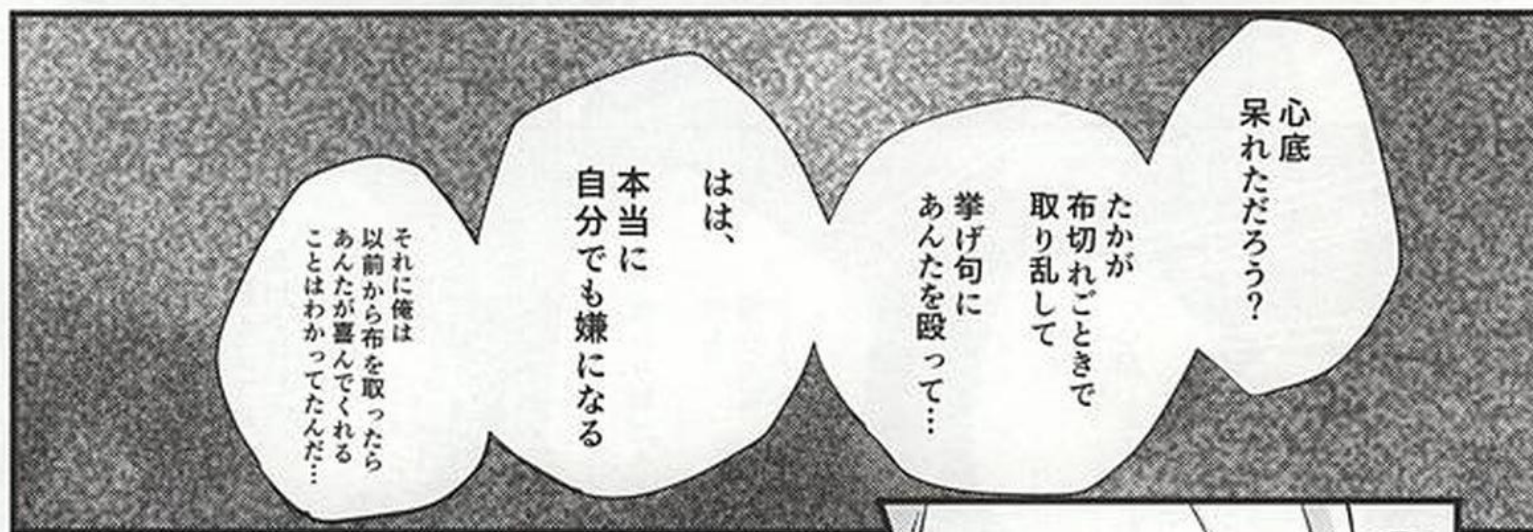


きみと

くに、ひろ？

…ない

もう
あんたが
写しの俺なんか
無理に付き合う
必要なんて…



心底
呆れただろう？

たかが
布切れごときで
取り乱して

拳げ句に
あんたを殴って…

はは、

本当に
自分でも嫌になる

それに俺は
以前から布を取ったら
あんたが喜んでくれる
ことはわかってたんだ…



でも…

それでも
俺は…

…だから、
こんな面倒な
写しなど
見限っ

ま…!!

まてまてまてまて待て

どうして
そうなる!?

こんな面倒な写しなど
天下五剣に
袖にされるのが
似合いといるものだろう
俺に遠慮など
するな
引導を渡してくれ

なぜおぬしは
そう言う所は
潔いのか

さつきも言ったが
わざわざ
そんな面倒な約束を
あんたに強いた
のは俺だからな!

たしかに
怒ったが...
それくらいで
あんたを嫌い
なったりしない

国広こそ
こんなじじいに
愛想を尽かしたのでは
ないのか?

怒ってこたえては
ないか

そもそも
布を取らぬという
約束を破ったのは
俺だぞ

俺とて
国広のそう言う所
を知った上で
好いておるのだから
嫌いになる
わけがないだろう!?

...

...



ふっ

何が可笑しい!?

が
ん

あはははは

あーいやいや
すまん

おぬしも俺も、
同じだったのだと
わかってな

それでつい
嬉しくなって
しまった



あんたと
俺が
同じ…?

そうだ。
国広は俺が
愛想を尽かすなどと
思ってた
いたようだが

俺はどうしたって
おぬしの心縛る
写しミという間は
わかってやれぬし

おぬしが兄弟と呼ぶ
山伏らのような
刀派の絆もなければ
刀として歩んで来た
時も違う

それらを
齒痒く思う事も
あるが

俺も同じように
おぬしに
嫌われてしまったのではと
恐れておったよ

今こうやって
国広と同じ
『思い』を持つことが
できたのが嬉しい

国広と俺の心は
いわば、
ミお揃いミ
というやつだな



写しなんかとお揃い
だなんて
天下五剣の名が
泣くぞ……

俺は
他人が付けた
肩書きや価値などに
興味はないぞ

『俺は、俺だ』

だろうか？

フイッ



俺は欲張りだからな
もっともっと
おぬしとの
お揃いミが
欲しいと思うておる

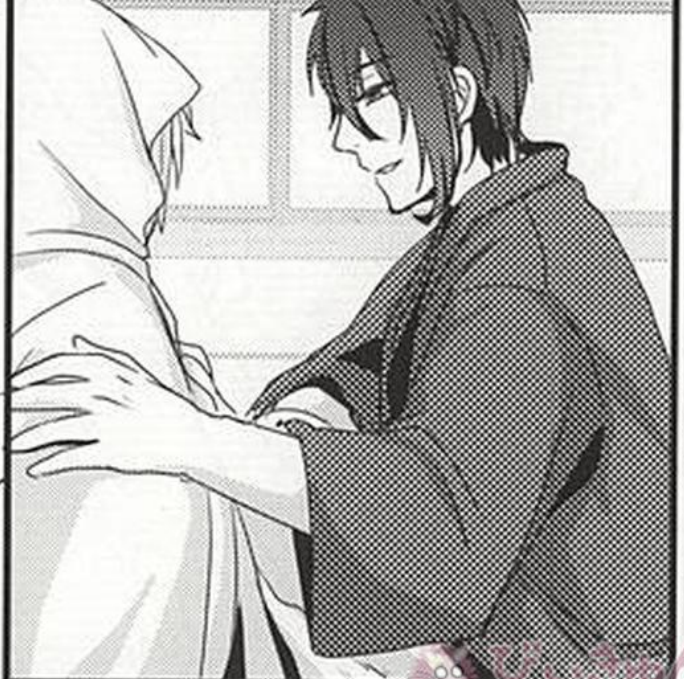
国広、
あいすまん
かったな……

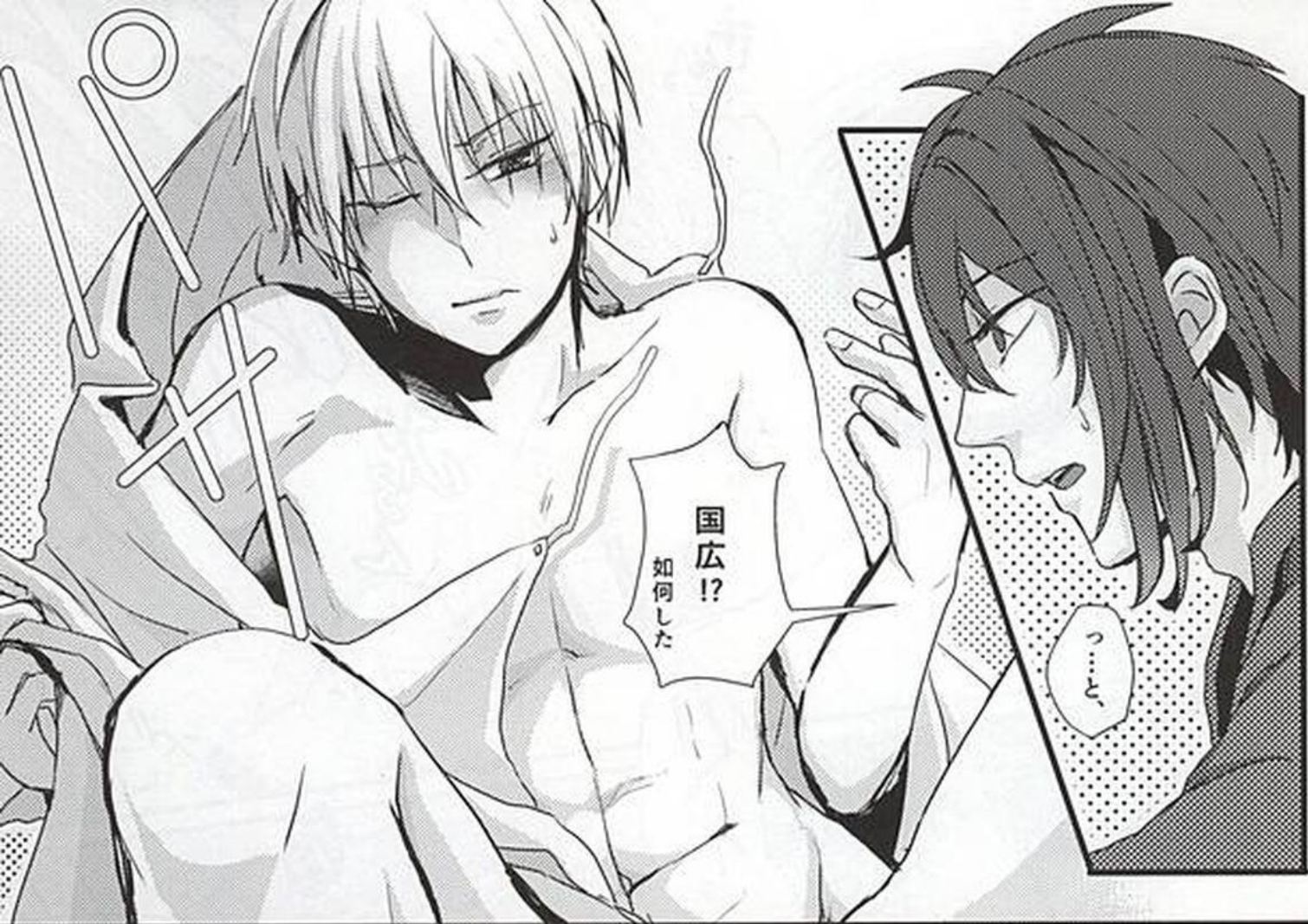
どうか
俺と仲直り
してくれんか？



あんたこそ、
俺で
良いのなら……









きゅん

303ん



はは、
すまん、
少し余裕を
無くした

おい
三日月……ッ
急に、入れる……なっ

ズッ

ズッ



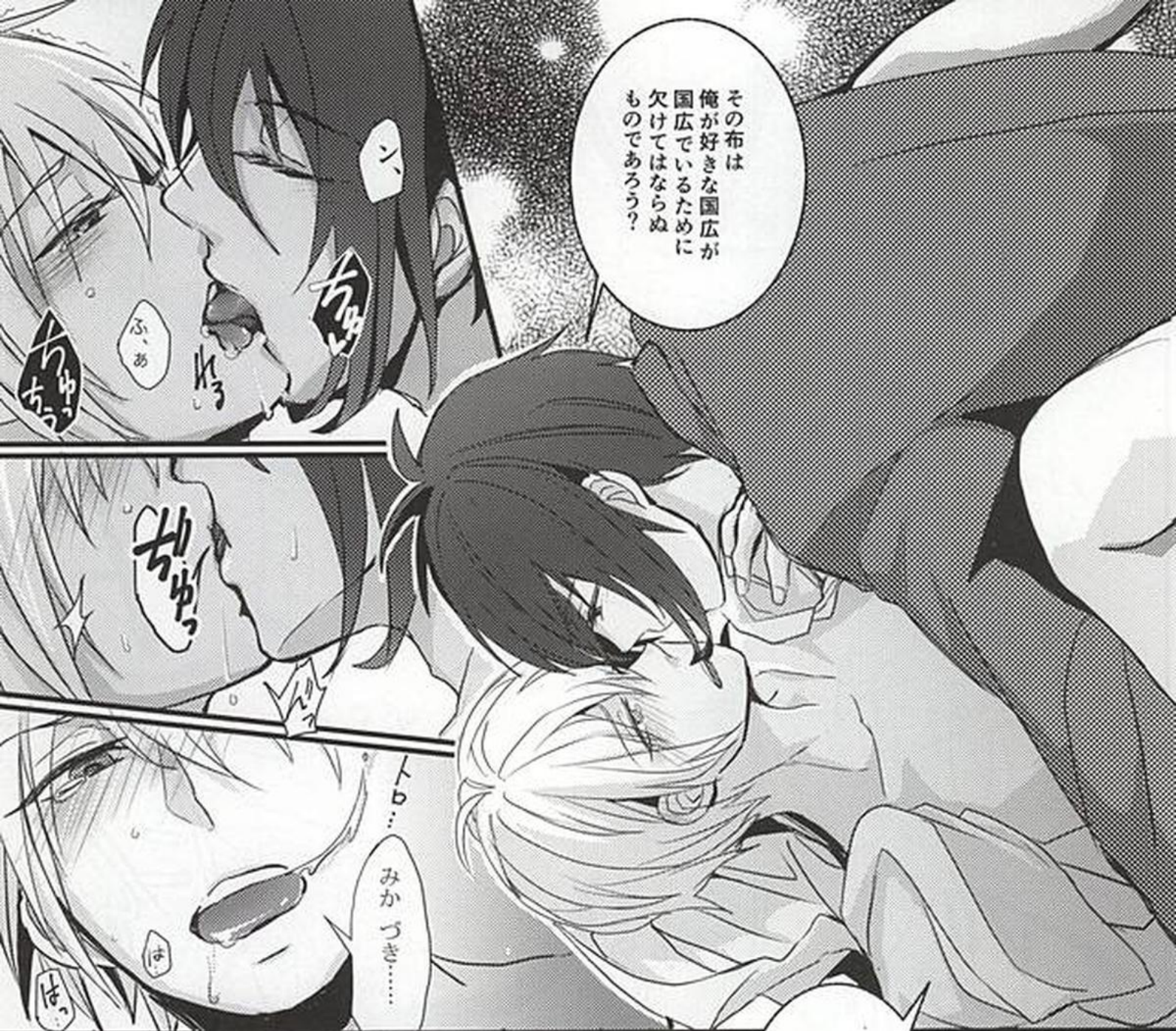
良い良い、
そのまま
構わんさ

あ……
すまない……

は……
は……

ふむ、
やはり
完全には
その布は
手放しきれぬ

びいっ



その布は
俺が好きなの国広が
国広でいるために
欠けてはならぬ
ものであるう？

トク……
みかづき……

まあ、
縫り付く先が
俺でないのは
ちと妬けるが、

なっ



むらっ

ツツ

お……





三日月...ッ!!



ん
国広



ふうっ

んっ

も、
これ以上大きく
するな...あっ!!

おお、
すまん...?



あつ…うなに、を
戯けたことをっ…!!

んっ

そうだろう
国広?

だがまあ、
大きいことは
イイことだ

はっはっは、
はっはっは、

なっ
なっ



ほら、大きい方が
国広の好きな処まで
ちゃんと届くぞ

ああ、
愛いな…愛い

恋しい

は
国広

好いている

おぬしを

山姥切国広…っ

あ
みかづき

国広、国

ぽん
ぽん
ぽん



はっ

「俺も…なんだ？
言ってくれ国広

ふっ

俺も

みかづき…

スッ…

俺も
あんたが
好きっだ

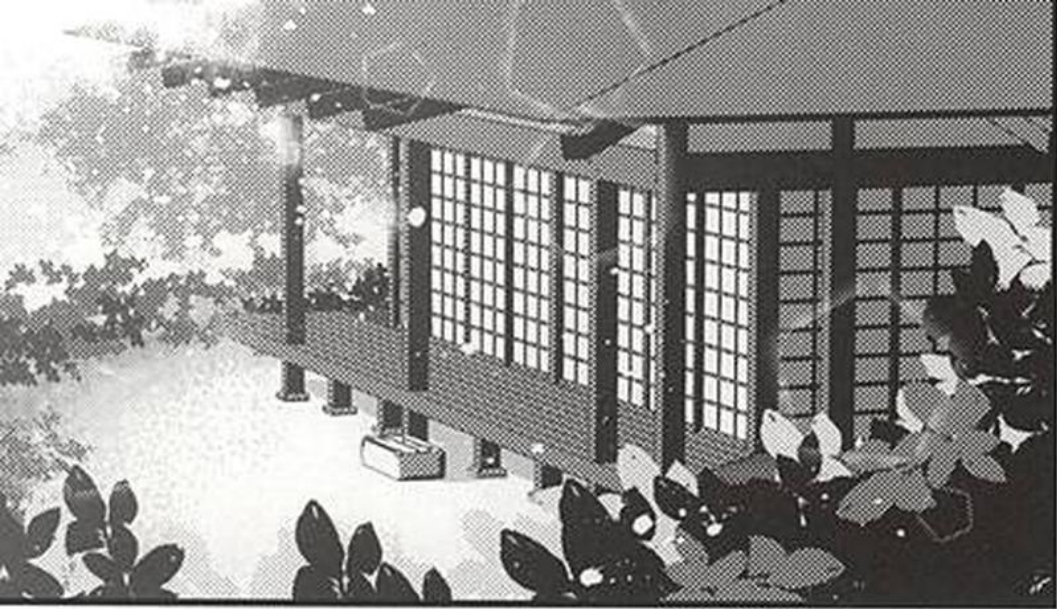
んん

ほ、
くにひろ

みかづき、
すきだ

三日月宗近…っ

ぽちゃん
くっ
くっ♡



一歩近づくと
もっと近づきたくなる

また次、その次
もっと、もっともっと

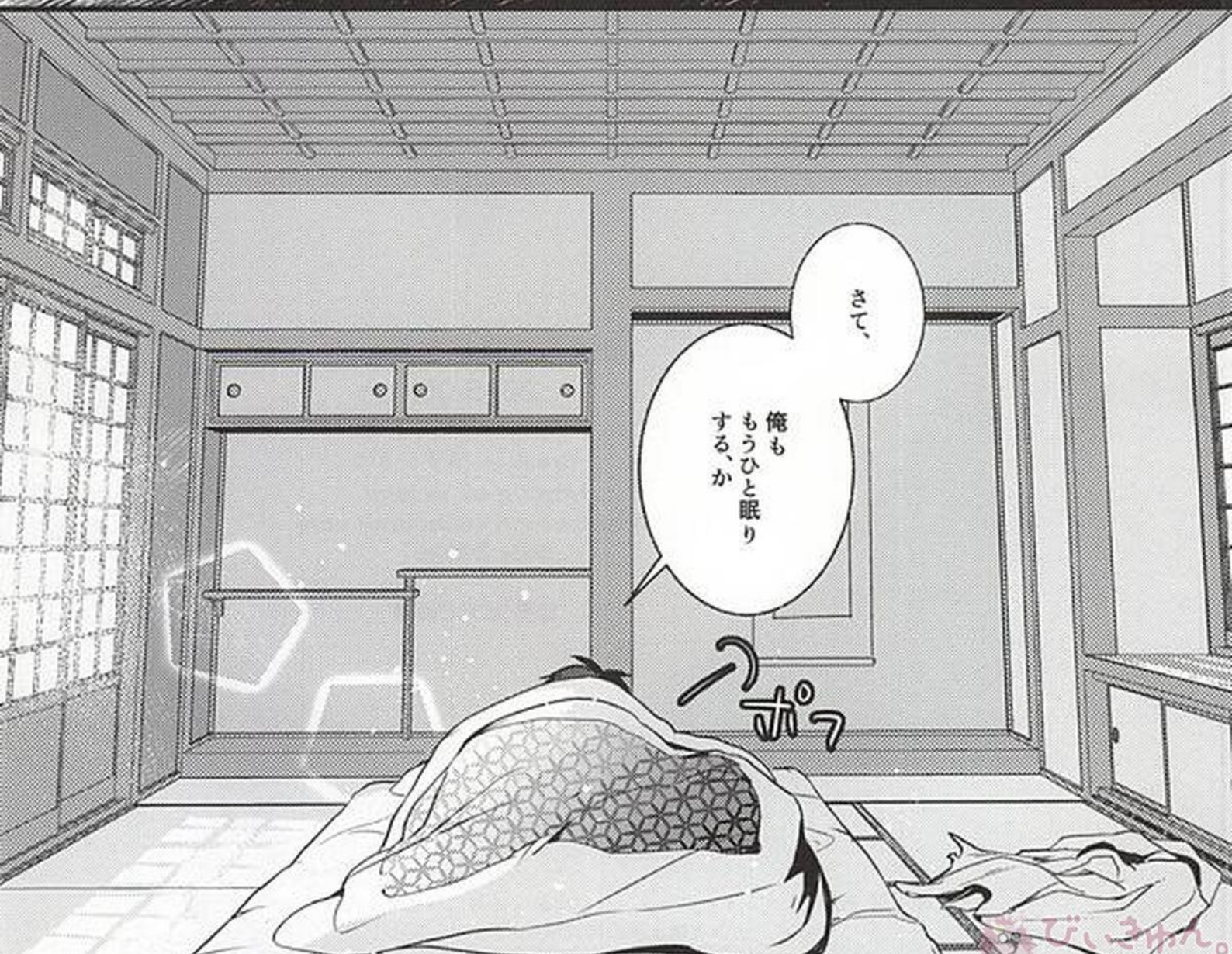
一体
どこまで近づけば、
知れば、交われば…






否、
どれだけ近づいても
わかった気になっても
決して交わる事はない
同じにはなれない

それでも…





襠褌布を脱がさないで

TOUKENRANBU♡MIKANBA♡FANBOOK

present by g-Break